

## 9 . 軽水炉MOX燃料加工 (現状と課題)

### 【世界の現状】

- 1 . 現在稼働中の軽水炉MOX燃料加工施設は、仏国COGEMA、英国NDA(BN-GS)、ベルギーBelgonucleaireのみ。
- 2 . 上記のうち、仏国COGEMA及びベルギーBelgonucleaireの施設における粉末混合工程にはMIMASプロセスが採用されている。また、米国で建設中のMOX燃料加工施設もCOGEMAが技術供与者となっており、MIMASプロセスが導入され、仏国の独占化の傾向。

### 【我が国の現状と課題】

- 1 . 六ヶ所村に、2007年からMOX燃料加工施設の建設開始、2012年から操業開始予定。
- 2 . 六ヶ所MOX燃料加工施設の導入技術は、粉末混合工程に仏国のMIMASプロセスを導入している他は、国産。
- 3 . 計量管理・保障措置技術等は日本原子力研究開発機構から導入。六ヶ所MOX燃料加工施設の着実な建設、運転を図るため、日本原子力研究開発機構と日本原燃との間で技術協力協定が締結されている。

## 9 . 軽水炉MOX燃料加工 (今後の対応)

- 1 . 六ヶ所MOX燃料加工施設の着実な操業開始のため、日本原燃は人材育成等に最大限努力するとともに、日本原子力研究開発機構は日本原燃へ引き続き適切な技術協力を行う。
- 2 . 国は、かかる技術協力が適切に行われるよう、日本原子力研究開発機構の人的・技術的サポートを可能にする財政的・組織的な配慮を継続。また、六ヶ所MOX燃料加工施設に係わる技術的確認のための試験に対し、適切な支援(補助事業)を継続。
- 3 . FBR実用化時期等を念頭において、次世代燃料製造技術開発が柔軟性を有していることが重要。
- 4 . 六ヶ所MOX燃料加工施設操業にあたっては、日本原燃と電気事業者間で適切なバックエンド費用を見込んだ対応がとられることを期待。